

## ビジョンを語る会（7/27 市川町）の主な意見

分野	主な意見
全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政など誰か任せにするのではなく、楽しく活動できる場所を自分でつくるのが、地域のためになるのではないかと思う。</li> <li>・何もないからこそ新たに作れることが田舎の魅力</li> <li>・何を残して（守って）、何を变えていくのかを明確にするべき。</li> </ul>
ツーリズム 振興・地域 資源の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・姫路には姫路城、福崎には妖怪があるが、市川町には何もない。市川町は通り道になっている。</li> <li>・場所に魅力がないのであれば、人や価値のあるもので、新たな人が集まってくる場所をつくる必要がある</li> <li>・まず市川町で価値のある資源は何なのかを洗い出し、今あるもので何ができるのかを考えることが大事</li> </ul>
交流 移住促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移住者にとっては、中途半端に何でも揃っている田舎（中途半端な田舎）は魅力がないと思う。</li> <li>・移住を希望する人がいても、空き家など住むところがないため断っている。他地域からどんどん来てもらい盛り上げていかないといけないうのに、住む場所がないため実現に至らない。</li> <li>・他市町に出て行っても、祭りには子どもを連れて帰省する。帰ろうと思ってもらえる、魅力的なことを考えることが大事</li> <li>・市川町には就職先の選択肢が多くないため、選択肢を求めて神戸・大阪や東京に出て行く子どもを引き止める術がない。出て行くか残るか決断を迫られている若い世代を引き止める何かをほしい。</li> </ul>
情報発信 魅力発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・兵庫県は多様で、魅力もたくさんあるので、もっと強く主張できるようになるべき。</li> <li>・若い世代には田舎での暮らしを望む人も多いため、移住したいと考えている人にしっかり情報発信をしていくことが大事</li> </ul>
交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢になり車を運転できなくなると、移動が課題となる。高齢者が自分で外に出たり、何か活動したりするためには、移動手段を考えないといけない。</li> <li>・高齢者が通学路を運転していることが危険で怖い。高齢者が運転しなくて済むよう、買い物や病院に行くバスの充実が必要</li> <li>・コミュニティバスの時間に縛られる生活は大変である。バスの便数が充実すると、高齢者も気軽に移動できるようになり、免許返納も進むのではないか。</li> <li>・アメリカでは、スマートフォンで車を呼ぶことができる配車サービス（ウーバー、リフト）がある。市川町や神崎郡でも導入できれば、高齢者のみならず、若者にとっても便利なのではないか。</li> </ul>

産業振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中播磨はものづくりが盛んだが、昔ながらの職人氣質や手作業にこだわる時代遅れな会社が多いと感じる。もう一步先を見て、研究開発に力を入れると、将来的に活躍できる場が広がるのではないか。</li> <li>・職人技は若い人がすぐにできるものではないため、人の作業をどうやって違う方法に置き換えるかを考え、ロボットを導入している。</li> <li>・ロボットを導入することで、中学生や高校生に興味を持ってもらい、ものづくり業界や市川町で働いてみようという若者が増えることを期待している。</li> <li>・市川町には仕事（働く場）が少ないので、どうしても神戸・大阪方面に仕事を探して、転出してしまう。</li> </ul>
多様な働き方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT の発達によりどこに居ても国内外とつながれるので、場所に縛られない働き方ができる。</li> <li>・田舎は自然豊かでストレスフリーに働ける。</li> </ul>
教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語を学ぶのではなく、英語で学ぶことが大事</li> <li>・子どもたちがいろんな経験や体験をできる場をもっと作ってほしい。</li> <li>・地域外で様々な体験をしてきたUターン者や移住者等から、市川町ではできない経験談を子どもたちに伝えてほしい。</li> <li>・市川町には、山や川、畑、田んぼなど五感をフルに活用できる環境が整っており、それは人間として大切なことを学べる場である。</li> <li>・学校に畑があり、野菜を育てることができることをもっとアピールすべき。予期せぬことが起こる野菜作りを体験することで、自分で考えて行動できる自走型の人材育成につながる。</li> </ul>
地域コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域コミュニティ活動の担い手も高齢化が進み、サポートが必要な年代が増えてきている。Uターン者や移住者など若い力で盛り上げていかないと、地域コミュニティは維持できなくなる。</li> <li>・消防団員数は年々減少しており、団員確保が課題になっている。</li> <li>・高齢者は考えが古く、昔からのことを大事にし過ぎていると思う。地域には時代に合っていない風習が残っているので、見直しを行っていくことで、少しずつ住みやすくなるのではないか。</li> </ul>
子育て	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1クラス的人数が激減しており、目に見えて少子化が進んでいる。</li> <li>・近頃、子どもたちが外で遊んでいる姿を見ることが少なくなっている。昔のように、近所でキャッチボールをする姿が見られるような30年後になってほしい。</li> <li>・子育て家庭を地域ぐるみでフォローする環境があれば、若い世代から選ばれる地域になるのではないか。</li> </ul>
地域福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・田舎では高齢者の生活支援など福祉サービスが足りていない。福祉施設では、人材不足で困っている。</li> <li>・車に乗れず買い物にも行けない一人暮らしの高齢者への対策が必要</li> </ul>

<p>多文化共生</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 英語は人と人がつながるためのツール。発信するためのツールであるとともに、自分を守るためのツールでもある。英語によるコミュニケーションができないと、情報収集や、物事の決定に関わる機会を逸することもある。</li> </ul>
<p>まちづくり 地域づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業振興地域制度の関係で、自分の土地であっても宅地に変更できない。自然豊かな市川町に住みたい人はたくさんいるはずなので、ルールが緩和され宅地が増えれば、子育て世代の転入につながり、人口減少の歯止めも期待できるのではないか。</li> <li>・ 人口減少に歯止めをかけるには、住みやすい環境を整えることが大事。一戸建ての家を建てられる土地を用意し、自然環境が好きな人を呼び込むことで、人口増につなげる。</li> </ul>